

Q0001

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント1：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

次の説明に最も合う用語はどれか。損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

- A. 定期保険
- B. 養老保険
- C. リスクマネジメント
- D. 特約

答え・解説

Q0001 正答：C. リスクマネジメント

解説：リスクマネジメントは、損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント2：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

リスクマネジメントの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- B. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- C. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- D. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

答え・解説

Q0002 正答：D. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

解説：リスクマネジメントの要点は「損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント3：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「リスクマネジメント」である。

- A. リスクマネジメント：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動
- B. 定期保険：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動
- C. 養老保険：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動
- D. 特約：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

答え・解説

Q0003 正答：A. リスクマネジメント：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

解説：正しい組合せは「リスクマネジメント：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動」。用語だけでなく、何を守り、何进行处理する概念かを確認する。

Q0004

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント4：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

「リスクマネジメント」は、損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。リスクマネジメントは損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント5：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

組織が「損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 定期保険
- B. 養老保険
- C. リスクマネジメント
- D. 特約

答え・解説

Q0005 正答：C. リスクマネジメント

解説：この目的に対応するのはリスクマネジメントである。損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動という機能・考え方を持つためである。

Q0006

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント6：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

「リスクマネジメント」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- B. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- C. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- D. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

答え・解説

Q0006 正答：D. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

解説：リスクマネジメントは損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント7：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

「リスクマネジメント」は、一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は定期保険の説明である。リスクマネジメントは損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動。

Q0008

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント8：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

次の状況で中心となる論点はどれか。「損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動」ことが求められている。

- A. 養老保険
- B. リスクマネジメント
- C. 特約
- D. 定期保険

答え・解説

Q0008 正答：B. リスクマネジメント

解説：中心となる論点はリスクマネジメントである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント9：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

リスクマネジメントを選定するときは、「損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0009 正答：○

解説：正しい。リスクマネジメントの選定・運用では、損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動という目的との適合を確認する。

Q0010

リスク管理

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの確認ポイント10：損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

リスクマネジメントは、損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0010 正答：×

解説：誤り。リスクマネジメントはまさに損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動という意味を持つ。

Q0011

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント1：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

次の説明に最も合う用語はどれか。一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

- A. 終身保険
- B. 個人年金保険
- C. 純保険料
- D. 定期保険

答え・解説

Q0011 正答：D. 定期保険

解説：定期保険は、一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0012

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント2：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

定期保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- B. 死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険
- C. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険
- D. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

答え・解説

Q0012 正答：A. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

解説：定期保険の要点は「一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0013

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント3：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「定期保険」である。

- A. 終身保険：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- B. 定期保険：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- C. 個人年金保険：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- D. 純保険料：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

答え・解説

Q0013 正答：B. 定期保険：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

解説：正しい組合せは「定期保険：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0014

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント4：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

「定期保険」は、一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0014 正答：○

解説：正しい。定期保険は一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0015

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント5：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

組織が「一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 終身保険
- B. 個人年金保険
- C. 純保険料
- D. 定期保険

答え・解説

Q0015 正答：D. 定期保険

解説：この目的に対応するのは定期保険である。一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険という機能・考え方を持つためである。

Q0016

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント6：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

「定期保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- B. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分
- C. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険
- D. 死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

答え・解説

Q0016 正答：A. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

解説：定期保険は一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0017

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント7：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

「定期保険」は、死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0017 正答：×

解説：誤り。記述は終身保険の説明である。定期保険は一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険。

Q0018

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント8：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険」ことが求められている。

A. 個人年金保険

B. 純保険料

C. 定期保険

D. 終身保険

答え・解説

Q0018 正答：C. 定期保険

解説：中心となる論点は定期保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0019

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント9：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

定期保険は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0019 正答：×

解説：誤り。定期保険は一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0020

リスク管理

タグ：定期保険

用語：定期保険の確認ポイント10：一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

定期保険と他の類似概念を区別する際は、「一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0020 正答：○

解説：正しい。定期保険の定義は一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険であり、類似概念との区別に使える。

Q0021

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント1：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

次の説明に最も合う用語はどれか。死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

- A. 終身保険
- B. 養老保険
- C. 医療保険
- D. 付加保険料

答え・解説

Q0021 正答：A. 終身保険

解説：終身保険は、死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0022

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント2：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

終身保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- B. 死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険
- C. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- D. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

答え・解説

Q0022 正答：B. 死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

解説：終身保険の要点は「死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0023

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント3：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「終身保険」である。

- A. 養老保険：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険
- B. 医療保険：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険
- C. 終身保険：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険
- D. 付加保険料：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

答え・解説

Q0023 正答：C. 終身保険：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

解説：正しい組合せは「終身保険：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0024

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント4：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

「終身保険」は、死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0024 正答：○

解説：正しい。終身保険は死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0025

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント5：死亡保障が一生継続し解約返戻金を持つことが多い保険

組織が「死亡保障が一生継続し解約返戻金を持つことが多い保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 終身保険
- B. 養老保険
- C. 医療保険
- D. 付加保険料

答え・解説

Q0025 正答：A. 終身保険

解説：この目的に対応するのは終身保険である。死亡保障が一生継続し解約返戻金を持つことが多い保険という機能・考え方を持つためである。

Q0026

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント6：死亡保障が一生継続し解約返戻金を持つことが多い保険

「終身保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- B. 死亡保障が一生継続し解約返戻金を持つことが多い保険
- C. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- D. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

答え・解説

Q0026 正答：B. 死亡保障が一生継続し解約返戻金を持つことが多い保険

解説：終身保険は死亡保障が一生継続し解約返戻金を持つことが多い保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0027

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント7：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

「終身保険」は、一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0027 正答：×

解説：誤り。記述は養老保険の説明である。終身保険は死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険。

Q0028

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント8：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険」ことが求められている。

A. 医療保険

B. 付加保険料

C. 養老保険

D. 終身保険

答え・解説

Q0028 正答：D. 終身保険

解説：中心となる論点は終身保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0029

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント9：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

終身保険を選定するときは、「死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0029 正答：○

解説：正しい。終身保険の選定・運用では、死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険という目的との適合を確認する。

Q0030

リスク管理

タグ：終身保険

用語：終身保険の確認ポイント10：死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

終身保険は、死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0030 正答：×

解説：誤り。終身保険はまさに死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険という意味を持つ。

Q0031

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント1：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

次の説明に最も合う用語はどれか。一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

- A. 個人年金保険
- B. 養老保険
- C. がん保険
- D. 責任準備金

答え・解説

Q0031 正答：B. 養老保険

解説：養老保険は、一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0032

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント2：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

養老保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険
- B. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- C. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- D. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

答え・解説

Q0032 正答：C. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

解説：養老保険の要点は「一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0033

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント3：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「養老保険」である。

- A. 個人年金保険：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- B. がん保険：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- C. 責任準備金：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- D. 養老保険：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

答え・解説

Q0033 正答：D. 養老保険：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

解説：正しい組合せは「養老保険：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0034

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント4：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

「養老保険」は、一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：○

解説：正しい。養老保険は一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0035

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント5：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

組織が「一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 個人年金保険
- B. 養老保険
- C. がん保険
- D. 責任準備金

答え・解説

Q0035 正答：B. 養老保険

解説：この目的に対応するのは養老保険である。一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険という機能・考え方を持つためである。

Q0036

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント6：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

「養老保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- B. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- C. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- D. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

答え・解説

Q0036 正答：C. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

解説：養老保険は一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0037

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント7：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

「養老保険」は、保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0037 正答：×

解説：誤り。記述は個人年金保険の説明である。養老保険は一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険。

Q0038

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント8：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険」ことが求められている。

A. 養老保険

B. がん保険

C. 責任準備金

D. 個人年金保険

答え・解説

Q0038 正答：A. 養老保険

解説：中心となる論点は養老保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0039

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント9：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

養老保険は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0039 正答：×

解説：誤り。養老保険は一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0040

リスク管理

タグ：養老保険

用語：養老保険の確認ポイント10：一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

養老保険と他の類似概念を区別する際は、「一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。養老保険の定義は一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険であり、類似概念との区別に使える。

Q0041

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント1：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

次の説明に最も合う用語はどれか。保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

- A. 医療保険
- B. 特約
- C. 個人年金保険
- D. 解約返戻金

答え・解説

Q0041 正答：C. 個人年金保険

解説：個人年金保険は、保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0042

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント2：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

個人年金保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- B. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- C. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- D. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

答え・解説

Q0042 正答：D. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

解説：個人年金保険の要点は「保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0043

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント3：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「個人年金保険」である。

- A. 個人年金保険：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険
- B. 医療保険：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険
- C. 特約：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険
- D. 解約返戻金：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

答え・解説

Q0043 正答：A. 個人年金保険：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

解説：正しい組合せは「個人年金保険：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0044

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント4：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

「個人年金保険」は、保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0044 正答：○

解説：正しい。個人年金保険は保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0045

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント5：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

組織が「保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 医療保険
- B. 特約
- C. 個人年金保険
- D. 解約返戻金

答え・解説

Q0045 正答：C. 個人年金保険

解説：この目的に対応するのは個人年金保険である。保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険という機能・考え方を持つためである。

Q0046

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント6：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

「個人年金保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- B. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- C. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- D. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

答え・解説

Q0046 正答：D. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

解説：個人年金保険は保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0047

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント7：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

「個人年金保険」は、入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0047 正答：×

解説：誤り。記述は医療保険の説明である。個人年金保険は保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険。

Q0048

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント8：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険」ことが求められている。

A. 特約

B. 個人年金保険

C. 解約返戻金

D. 医療保険

答え・解説

Q0048 正答：B. 個人年金保険

解説：中心となる論点は個人年金保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0049

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント9：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

個人年金保険を選定するときは、「保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。個人年金保険の選定・運用では、保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険という目的との適合を確認する。

Q0050

リスク管理

タグ：個人年金保険

用語：個人年金保険の確認ポイント10：保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険

個人年金保険は、保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0050 正答：×

解説：誤り。個人年金保険はまさに保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険という意味を持つ。

Q0051

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント1：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

次の説明に最も合う用語はどれか。入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

- A. がん保険
- B. 純保険料
- C. 火災保険
- D. 医療保険

答え・解説

Q0051 正答：D. 医療保険

解説：医療保険は、入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0052

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント2：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

医療保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- B. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- C. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分
- D. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

答え・解説

Q0052 正答：A. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

解説：医療保険の要点は「入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0053

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント3：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「医療保険」である。

- A. がん保険：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- B. 医療保険：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- C. 純保険料：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- D. 火災保険：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

答え・解説

Q0053 正答：B. 医療保険：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

解説：正しい組合せは「医療保険：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0054

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント4：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

「医療保険」は、入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0054 正答：○

解説：正しい。医療保険は入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0055

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント5：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

組織が「入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. がん保険
- B. 純保険料
- C. 火災保険
- D. 医療保険

答え・解説

Q0055 正答：D. 医療保険

解説：この目的に対応するのは医療保険である。入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険という機能・考え方を持つためである。

Q0056

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント6：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

「医療保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- B. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険
- C. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分
- D. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

答え・解説

Q0056 正答：A. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

解説：医療保険は入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0057

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント7：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

「医療保険」は、がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0057 正答：×

解説：誤り。記述はがん保険の説明である。医療保険は入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険。

Q0058

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント8：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険」ことが求められている。

A. 純保険料

B. 火災保険

C. 医療保険

D. がん保険

答え・解説

Q0058 正答：C. 医療保険

解説：中心となる論点は医療保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0059

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント9：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

医療保険は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0059 正答：×

解説：誤り。医療保険は入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0060

リスク管理

タグ：医療保険

用語：医療保険の確認ポイント10：入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

医療保険と他の類似概念を区別する際は、「入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0060 正答：○

解説：正しい。医療保険の定義は入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険であり、類似概念との区別に使える。

Q0061

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント1：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

次の説明に最も合う用語はどれか。がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

- A. がん保険
- B. 特約
- C. 付加保険料
- D. 地震保険

答え・解説

Q0061 正答：A. がん保険

解説：がん保険は、がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0062

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント2：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

がん保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- B. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- C. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- D. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

答え・解説

Q0062 正答：B. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

解説：がん保険の要点は「がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0063

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント3：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「がん保険」である。

- A. 特約：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- B. 付加保険料：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- C. がん保険：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- D. 地震保険：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

答え・解説

Q0063 正答：C. がん保険：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

解説：正しい組合せは「がん保険：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0064

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント4：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

「がん保険」は、がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0064 正答：○

解説：正しい。がん保険はがんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0065

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント5：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

組織が「がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. がん保険
- B. 特約
- C. 付加保険料
- D. 地震保険

答え・解説

Q0065 正答：A. がん保険

解説：この目的に対応するのはがん保険である。がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険という機能・考え方を持つためである。

Q0066

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント6：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

「がん保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- B. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- C. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- D. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

答え・解説

Q0066 正答：B. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

解説：がん保険はがんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0067

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント7：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

「がん保険」は、主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0067 正答：×

解説：誤り。記述は特約の説明である。がん保険はがんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険。

Q0068

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント8：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険」ことが求められている。

A. 付加保険料

B. 地震保険

C. 特約

D. がん保険

答え・解説

Q0068 正答：D. がん保険

解説：中心となる論点はがん保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0069

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント9：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

がん保険を選定するときは、「がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0069 正答：○

解説：正しい。がん保険の選定・運用では、がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険という目的との適合を確認する。

Q0070

リスク管理

タグ：がん保険

用語：がん保険の確認ポイント10：がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

がん保険は、がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。がん保険はまさにがんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険という意味を持つ。

Q0071

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント1：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

次の説明に最も合う用語はどれか。主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

- A. 純保険料
- B. 特約
- C. 責任準備金
- D. 自動車保険

答え・解説

Q0071 正答：B. 特約

解説：特約は、主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0072

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント2：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

特約の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分
- B. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- C. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- D. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

答え・解説

Q0072 正答：C. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

解説：特約の要点は「主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0073

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント3：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「特約」である。

- A. 純保険料：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- B. 責任準備金：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- C. 自動車保険：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- D. 特約：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

答え・解説

Q0073 正答：D. 特約：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

解説：正しい組合せは「特約：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0074

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント4：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

「特約」は、主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0074 正答：○

解説：正しい。特約は主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0075

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント5：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

組織が「主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 純保険料
- B. 特約
- C. 責任準備金
- D. 自動車保険

答え・解説

Q0075 正答：B. 特約

解説：この目的に対応するのは特約である。主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分という機能・考え方を持つためである。

Q0076

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント6：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

「特約」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- B. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- C. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分
- D. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

答え・解説

Q0076 正答：C. 主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

解説：特約は主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0077

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント7：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

「特約」は、将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0077 正答：×

解説：誤り。記述は純保険料の説明である。特約は主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分。

Q0078

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント8：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

次の状況で中心となる論点はどれか。「主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分」ことが求められている。

A. 特約

B. 責任準備金

C. 自動車保険

D. 純保険料

答え・解説

Q0078 正答：A. 特約

解説：中心となる論点は特約である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0079

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント9：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

特約は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。特約は主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0080

リスク管理

タグ：特約

用語：特約の確認ポイント10：主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分

特約と他の類似概念を区別する際は、「主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0080 正答：○

解説：正しい。特約の定義は主契約へ追加して保障内容を拡張・調整する契約部分であり、類似概念との区別に使える。

Q0081

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント1：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

次の説明に最も合う用語はどれか。将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

- A. 付加保険料
- B. 解約返戻金
- C. 純保険料
- D. リスクマネジメント

答え・解説

Q0081 正答：C. 純保険料

解説：純保険料は、将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0082

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント2：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

純保険料の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- B. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- C. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動
- D. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

答え・解説

Q0082 正答：D. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

解説：純保険料の要点は「将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0083

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント3：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「純保険料」である。

- A. 純保険料：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分
- B. 付加保険料：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分
- C. 解約返戻金：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分
- D. リスクマネジメント：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

答え・解説

Q0083 正答：A. 純保険料：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

解説：正しい組合せは「純保険料：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分」。用語だけでなく、何を守り、何进行处理する概念かを確認する。

Q0084

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント4：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

「純保険料」は、将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0084 正答：○

解説：正しい。純保険料は将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0085

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント5：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

組織が「将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 付加保険料
- B. 解約返戻金
- C. 純保険料
- D. リスクマネジメント

答え・解説

Q0085 正答：C. 純保険料

解説：この目的に対応するのは純保険料である。将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分という機能・考え方を持つためである。

Q0086

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント6：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

「純保険料」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動
- B. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- C. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- D. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

答え・解説

Q0086 正答：D. 将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

解説：純保険料は将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0087

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント7：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

「純保険料」は、保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0087 正答：×

解説：誤り。記述は付加保険料の説明である。純保険料は将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分。

Q0088

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント8：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

次の状況で中心となる論点はどれか。「将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分」ことが求められている。

A. 解約返戻金

B. 純保険料

C. リスクマネジメント

D. 付加保険料

答え・解説

Q0088 正答：B. 純保険料

解説：中心となる論点は純保険料である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0089

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント9：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

純保険料を選定するときは、「将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0089 正答：○

解説：正しい。純保険料の選定・運用では、将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分という目的との適合を確認する。

Q0090

リスク管理

タグ：純保険料

用語：純保険料の確認ポイント10：将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分

純保険料は、将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0090 正答：×

解説：誤り。純保険料はまさに将来の保険金・給付金支払いの財源に充てる保険料部分という意味を持つ。

Q0091

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント1：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

次の説明に最も合う用語はどれか。保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

- A. 責任準備金
- B. 火災保険
- C. 定期保険
- D. 付加保険料

答え・解説

Q0091 正答：D. 付加保険料

解説：付加保険料は、保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0092

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント2：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

付加保険料の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- B. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- C. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険
- D. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険

答え・解説

Q0092 正答：A. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

解説：付加保険料の要点は「保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0093

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント3：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「付加保険料」である。

- A. 責任準備金：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- B. 付加保険料：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- C. 火災保険：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- D. 定期保険：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

答え・解説

Q0093 正答：B. 付加保険料：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

解説：正しい組合せは「付加保険料：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0094

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント4：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

「付加保険料」は、保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0094 正答：○

解説：正しい。付加保険料は保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0095

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント5：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

組織が「保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 責任準備金
- B. 火災保険
- C. 定期保険
- D. 付加保険料

答え・解説

Q0095 正答：D. 付加保険料

解説：この目的に対応するのは付加保険料である。保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分という機能・考え方を持つためである。

Q0096

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント6：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

「付加保険料」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分
- B. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- C. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険
- D. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

答え・解説

Q0096 正答：A. 保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

解説：付加保険料は保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0097

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント7：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

「付加保険料」は、将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0097 正答：×

解説：誤り。記述は責任準備金の説明である。付加保険料は保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分。

Q0098

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント8：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

次の状況で中心となる論点はどれか。「保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分」ことが求められている。

- A. 火災保険
- B. 定期保険
- C. 付加保険料
- D. 責任準備金

答え・解説

Q0098 正答：C. 付加保険料

解説：中心となる論点は付加保険料である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0099

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント9：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

付加保険料は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0099 正答：×

解説：誤り。付加保険料は保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0100

リスク管理

タグ：付加保険料

用語：付加保険料の確認ポイント10：保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分

付加保険料と他の類似概念を区別する際は、「保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0100 正答：○

解説：正しい。付加保険料の定義は保険会社の事業運営費などに充てる保険料部分であり、類似概念との区別に使える。

Q0101

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント1：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

次の説明に最も合う用語はどれか。将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

- A. 責任準備金
- B. 解約返戻金
- C. 地震保険
- D. 終身保険

答え・解説

Q0101 正答：A. 責任準備金

解説：責任準備金は、将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0102

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント2：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

責任準備金の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- B. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- C. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- D. 死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険

答え・解説

Q0102 正答：B. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

解説：責任準備金の要点は「将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0103

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント3：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「責任準備金」である。

- A. 解約返戻金：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- B. 地震保険：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- C. 責任準備金：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- D. 終身保険：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

答え・解説

Q0103 正答：C. 責任準備金：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

解説：正しい組合せは「責任準備金：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0104

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント4：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

「責任準備金」は、将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0104 正答：○

解説：正しい。責任準備金は将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0105

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント5：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

組織が「将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 責任準備金
- B. 解約返戻金
- C. 地震保険
- D. 終身保険

答え・解説

Q0105 正答：A. 責任準備金

解説：この目的に対応するのは責任準備金である。将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金という機能・考え方を持つためである。

Q0106

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント6：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

「責任準備金」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 死亡保障が一生継続し解約返戻金を持つことが多い保険
- B. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金
- C. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- D. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

答え・解説

Q0106 正答：B. 将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

解説：責任準備金は将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0107

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント7：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

「責任準備金」は、保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0107 正答：×

解説：誤り。記述は解約返戻金の説明である。責任準備金は将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金。

Q0108

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント8：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

次の状況で中心となる論点はどれか。「将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金」ことが求められている。

- A. 地震保険
- B. 終身保険
- C. 解約返戻金
- D. 責任準備金

答え・解説

Q0108 正答：D. 責任準備金

解説：中心となる論点は責任準備金である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0109

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント9：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

責任準備金を選定するときは、「将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0109 正答：○

解説：正しい。責任準備金の選定・運用では、将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金という目的との適合を確認する。

Q0110

リスク管理

タグ：責任準備金

用語：責任準備金の確認ポイント10：将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金

責任準備金は、将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0110 正答：×

解説：誤り。責任準備金はまさに将来の保険金等の支払いに備えて保険会社が積み立てる準備金という意味を持つ。

Q0111

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント1：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

次の説明に最も合う用語はどれか。保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

- A. 火災保険
- B. 解約返戻金
- C. 自動車保険
- D. 養老保険

答え・解説

Q0111 正答：B. 解約返戻金

解説：解約返戻金は、保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0112

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント2：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

解約返戻金の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険
- B. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- C. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- D. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険

答え・解説

Q0112 正答：C. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

解説：解約返戻金の要点は「保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0113

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント3：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「解約返戻金」である。

- A. 火災保険：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- B. 自動車保険：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- C. 養老保険：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- D. 解約返戻金：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

答え・解説

Q0113 正答：D. 解約返戻金：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

解説：正しい組合せは「解約返戻金：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0114

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント4：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

「解約返戻金」は、保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0114 正答：○

解説：正しい。解約返戻金は保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0115

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント5：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

組織が「保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 火災保険
- B. 解約返戻金
- C. 自動車保険
- D. 養老保険

答え・解説

Q0115 正答：B. 解約返戻金

解説：この目的に対応するのは解約返戻金である。保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額という機能・考え方を持つためである。

Q0116

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント6：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

「解約返戻金」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間の死亡保障と満期時の生存保険金を組み合わせた保険
- B. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- C. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額
- D. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

答え・解説

Q0116 正答：C. 保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

解説：解約返戻金は保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0117

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント7：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

「解約返戻金」は、火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0117 正答：×

解説：誤り。記述は火災保険の説明である。解約返戻金は保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額。

Q0118

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント8：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

次の状況で中心となる論点はどれか。「保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額」ことが求められている。

A. 解約返戻金

B. 自動車保険

C. 養老保険

D. 火災保険

答え・解説

Q0118 正答：A. 解約返戻金

解説：中心となる論点は解約返戻金である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0119

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント9：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

解約返戻金は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0119 正答：×

解説：誤り。解約返戻金は保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0120

リスク管理

タグ：解約返戻金

用語：解約返戻金の確認ポイント10：保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額

解約返戻金と他の類似概念を区別する際は、「保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0120 正答：○

解説：正しい。解約返戻金の定義は保険契約を途中で解約したとき契約者へ払い戻されることがある金額であり、類似概念との区別に使える。

Q0121

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント1：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

次の説明に最も合う用語はどれか。火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

- A. 地震保険
- B. リスクマネジメント
- C. 火災保険
- D. 個人年金保険

答え・解説

Q0121 正答：C. 火災保険

解説：火災保険は、火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0122

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント2：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

火災保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- B. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動
- C. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険
- D. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

答え・解説

Q0122 正答：D. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

解説：火災保険の要点は「火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0123

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント3：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「火災保険」である。

- A. 火災保険：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険
- B. 地震保険：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険
- C. リスクマネジメント：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険
- D. 個人年金保険：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

答え・解説

Q0123 正答：A. 火災保険：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

解説：正しい組合せは「火災保険：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0124

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント4：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

「火災保険」は、火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0124 正答：○

解説：正しい。火災保険は火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0125

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント5：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

組織が「火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 地震保険
- B. リスクマネジメント
- C. 火災保険
- D. 個人年金保険

答え・解説

Q0125 正答：C. 火災保険

解説：この目的に対応するのは火災保険である。火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険という機能・考え方を持つためである。

Q0126

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント6：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

「火災保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険料を積み立て所定年齢から年金として受け取る保険
- B. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動
- C. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- D. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

答え・解説

Q0126 正答：D. 火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

解説：火災保険は火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0127

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント7：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

「火災保険」は、地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0127 正答：×

解説：誤り。記述は地震保険の説明である。火災保険は火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険。

Q0128

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント8：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険」ことが求められている。

- A. リスクマネジメント
B. 火災保険
C. 個人年金保険
D. 地震保険

答え・解説

Q0128 正答：B. 火災保険

解説：中心となる論点は火災保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0129

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント9：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

火災保険を選定するときは、「火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0129 正答：○

解説：正しい。火災保険の選定・運用では、火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険という目的との適合を確認する。

Q0130

リスク管理

タグ：火災保険

用語：火災保険の確認ポイント10：火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険

火災保険は、火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0130 正答：×

解説：誤り。火災保険はまさに火災や風災など契約で定めた建物・家財の損害を補償する保険という意味を持つ。

Q0131

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント1：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

次の説明に最も合う用語はどれか。地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

- A. 自動車保険
- B. 定期保険
- C. 医療保険
- D. 地震保険

答え・解説

Q0131 正答：D. 地震保険

解説：地震保険は、地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0132

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント2：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

地震保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- B. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- C. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- D. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険

答え・解説

Q0132 正答：A. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

解説：地震保険の要点は「地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0133

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント3：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「地震保険」である。

- A. 自動車保険：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- B. 地震保険：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- C. 定期保険：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- D. 医療保険：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

答え・解説

Q0133 正答：B. 地震保険：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

解説：正しい組合せは「地震保険：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0134

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント4：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

「地震保険」は、地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0134 正答：○

解説：正しい。地震保険は地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0135

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント5：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

組織が「地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 自動車保険
- B. 定期保険
- C. 医療保険
- D. 地震保険

答え・解説

Q0135 正答：D. 地震保険

解説：この目的に対応するのは地震保険である。地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険という機能・考え方を持つためである。

Q0136

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント6：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

「地震保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険
- B. 入院や手術など所定の医療事由へ給付を行う保険
- C. 一定期間内の死亡・高度障害を保障し満期保険金を通常持たない保険
- D. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

答え・解説

Q0136 正答：A. 地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

解説：地震保険は地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0137

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント7：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

「地震保険」は、自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0137 正答：×

解説：誤り。記述は自動車保険の説明である。地震保険は地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険。

Q0138

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント8：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険」ことが求められている。

- A. 定期保険
- B. 医療保険
- C. 地震保険
- D. 自動車保険

答え・解説

Q0138 正答：C. 地震保険

解説：中心となる論点は地震保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0139

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント9：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

地震保険は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0139 正答：×

解説：誤り。地震保険は地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0140

リスク管理

タグ：地震保険

用語：地震保険の確認ポイント10：地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険

地震保険と他の類似概念を区別する際は、「地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0140 正答：○

解説：正しい。地震保険の定義は地震・噴火・津波による居住用建物や家財の損害を補償する保険であり、類似概念との区別に使える。

Q0141

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント1：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

次の説明に最も合う用語はどれか。自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

- A. 自動車保険
- B. リスクマネジメント
- C. 終身保険
- D. がん保険

答え・解説

Q0141 正答：A. 自動車保険

解説：自動車保険は、自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0142

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント2：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

自動車保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動
- B. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- C. 死亡保障が一生渡りつき解約返戻金を持つことが多い保険
- D. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険

答え・解説

Q0142 正答：B. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

解説：自動車保険の要点は「自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0143

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント3：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「自動車保険」である。

- A. リスクマネジメント：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- B. 終身保険：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- C. 自動車保険：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- D. がん保険：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

答え・解説

Q0143 正答：C. 自動車保険：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

解説：正しい組合せは「自動車保険：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0144

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント4：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

「自動車保険」は、自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0144 正答：○

解説：正しい。自動車保険は自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0145

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント5：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

組織が「自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 自動車保険
- B. リスクマネジメント
- C. 終身保険
- D. がん保険

答え・解説

Q0145 正答：A. 自動車保険

解説：この目的に対応するのは自動車保険である。自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険という機能・考え方を持つためである。

Q0146

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント6：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

「自動車保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. がんの診断、入院、治療などへ重点的に給付する保険
- B. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険
- C. 死亡保障が一生涯続き解約返戻金を持つことが多い保険
- D. 損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動

答え・解説

Q0146 正答：B. 自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

解説：自動車保険は自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0147

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント7：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

「自動車保険」は、損失の可能性を把握し回避・低減・移転・保有などを選ぶ活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0147 正答：×

解説：誤り。記述はリスクマネジメントの説明である。自動車保険は自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険。

Q0148

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント8：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

次の状況で中心となる論点はどれか。「自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険」ことが求められている。

- A. 終身保険
- B. がん保険
- C. リスクマネジメント
- D. 自動車保険

答え・解説

Q0148 正答：D. 自動車保険

解説：中心となる論点は自動車保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0149

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント9：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

自動車保険を選定するときは、「自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0149 正答：○

解説：正しい。自動車保険の選定・運用では、自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険という目的との適合を確認する。

Q0150

リスク管理

タグ：自動車保険

用語：自動車保険の確認ポイント10：自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険

自動車保険は、自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0150 正答：×

解説：誤り。自動車保険はまさに自動車事故による対人・対物賠償や車両・傷害などを補償する保険という意味を持つ。